

12月18日(金)第54回中央環境審議会循環型社会計画部会における委員御指摘を踏まえた修正について

御指摘事項	対応
産業分野別の資源生産性から判断すると時系列的にみると各産業ではあまり変化していない。むしろ産業間の違いが大きい。ということは、H2年と比べると、時系列的には変わっていないのだから産業構造の変化が大きな要因であるという風に思われるので、付け加えてはどうか。	御指摘を踏まえ修正(p21)
アスベストのデータについても記載すべきではないか	参考資料の参考2にデータを記載。
家庭ゴミ有料化については地域で割に検討も進んでいるが、反対する人もいるので、もう少し強めに詳しく記載してはどうか。	御指摘を踏まえ修正(p64)
「関係者が3Rに自主的に取り組むことを促す、市場メカニズムを活用した手法について検討しています」とするべき。	御指摘を踏まえ修正(p78)
3Rエコポイントについてももう少し記載できないか。「現状と課題」とするべき。	御指摘を踏まえ修正(p78)
食品リサイクルで食品ロス削減も重要となっていることを加筆してはどうか。	御指摘を踏まえ修正(p79)
「循環型社会形成推進化学研究助成等」とか「・・・支援等」とするべき。	御指摘を踏まえ修正(p81)
地域循環圏についての国の取組について、物質の性質別の地域循環圏についてももう少し書き込むべき。90頁にあるように個別リサイクル法、企業努力のなかで適切に組み込まれるべきもの。地方公共団体がすべてやるように見えるのはよくない。など施策を総動員するという思いが伝わるべき。	御指摘を踏まえ修正(p87)
有料化の一方策としてデポジットに関して今後の課題として加筆してはどうか。	御指摘を踏まえ修正(p87)
3つの社会を3Rが中核としてすすめていくということをもっと少し記載するべき。自然共生が進んでいないというところは唐突なので修正するべき。	御指摘を踏まえ修正(p89)
75%増のところは何と比べてどうかということが誤解を与えないように記載するべき。	御指摘を踏まえ修正(p89)
自然共生が進んでいないということは根拠が薄い。循環資源を利用していくことによって自然環境が保護されるというよう	御指摘を踏まえ修正(p89,90)

な観点をもう少し記載した方がよいのではないか。	
3R行動の定量的評価をすすめることについても記載できないか。	御指摘を踏まえ修正 (p88)
地域の連携、協働の話をもう少し記載すべき。	御指摘を踏まえ修正 (p88)
「環境学習」にするべき。	御指摘を踏まえ修正 (p91)
産業構造の変化についてももう少し具体的な様子がわかるように課題を記載してはどうか。	御指摘を踏まえ修正 (p91)
「研究分野の成果も活用しながら～統計の早期化」というのは一つにまとめるべき	御指摘を踏まえ修正 (p92)
感想。各業界から要望も出ているのでそういう要望もあることを委員にご理解していただきたい。 (要望) 業界も努力するが、行政、地域社会等あらゆる関係者が協力することが重要 循環ビジネスの拡大が必ず雇用の拡大につながるということではないということも留意願いたい 経団連としては、可能な範囲でわかりやすくしていきたいが、若干の定義の違いは業界のそれぞれの背景があることもご理解願いたい。 セメントの減産など循環資源の利用が難しくなる中で、循環計画も踏まえた自主行動計画の策定には国の政策支援が不可欠であること 例えば製紙業界では、温暖化対策のため、燃料を重油からバイオマス系に変更することもあるが、それによりかえって焼却灰が増える。つまり、温暖化対策と廃棄物対策はトレードオフの関係にもなる。一方、焼却灰の利用先のセメントも減産である。このような焼却灰を利用しやすくなるようなことを是非考えていただきたい。川砂の採取による河川の破壊防止であるか、生物多様性などにも寄与すると考えている。	p70,71において要望も配慮した記述となっている。
「地域計画」という名称についてももう少し誤解のないようにわかりやすくするべき。	御指摘を踏まえ修正 (p87)
食品リサイクル資源を肥料として活用したときに環境農業と環境政策のつながりをいれてはどうか、生物多様性とのつながりというのが出てくるのではないか。	御指摘を踏まえ修正 (p89)

